

## 教授会議事録

日時：平成 17 年 10 月 11 日（火）午後 3 時 00 分から午後 5 時 15 分

場所：電気通信研究所大会議室

出席者：議長（所長）他教授 26 名、助教授 13 名

議事に先立ち、議長から、教員の人事異動について配付資料により報告があったほか、事務部長から 10 月 1 日付け人事異動に伴う経理係長の紹介があった。

## 議事録の確認

平成 17 年 9 月 13 日（火）開催の定例教授会議事録について、原案のとおり承認した。

## I. 報告事項

## 1. 学内外諸会議等報告

## (1) 教育研究評議会

① 教育研究評議会における総長候補者の推薦方法について、総長候補者推薦方法検討 WG から配付資料のとおり報告及び提案があり、各部局に対し 10 月 7 日締切りで意見を求められたこと。締切りが通研教授会前であるため、メールにて教授会構成員に対し意見を照会したが、なかったので、「意見なし」と報告済みであること。

なお、配付資料の論点 3 の評議員と総長選考会議、経営協議会構成員との兼任者の取扱いについては、平成 17 年 2 月 8 日付けで総長及び総長選考会議議長あてに提出した通研教授会からの意見書においても問題点として挙げているとの意見があり、議長から、総長候補者推薦方法検討 WG で発言する旨の付言があった。

② 特殊勤務手当に規定する学位論文審査手当（論文提出による）の平成 17 年度からの変更について、説明があったこと。

③ 医工学連携の将来構想について、案が提出されていること。

## (2) 財務戦略会議

運営費交付金の人件費の部局への配分方法について、継続審議中であること。

## (3) 学務審議会

総合科目の実施に関し配付資料に基づき、平成 18・19 年度に各 1 コマを通研が担当することとなっている旨説明があり、所長と相談した結果、全員の教授に 2 年間のうち 1 回担当していただきたいこと。また、授業内容については自分の専門を易しく解説してもらいたい旨の依頼があった。

なお、各部門長にそれぞれの年度の担当者について、選出を依頼しているので協力願いたいこと。

## (4) 入試実施委員会

配付資料に基づき報告があり、特に、試験場監督者の選出について、入試センター試験にリスニングが導入されることになり、事務手続きが早まった旨の付言があった。

## (5) 国際高等研究教育機構（21 世紀 COE 等）設置構想検討委員会

21 世紀 COE の後を受けて、世界トップレベルの研究を推進する研究者を育成するために少数の学生を 5 年間一貫教育する独立研究科設置構想を基に、平成 18 年度から概算要求をしていく方向であること。カリキュラム等の詳細については、実行委員会を結成し検討していくことが承認されていることの報告があった。

## (6) 高等研究教育基盤技術センター設置構想委員会

これまでの委員会活動を通して、各部局には埋もれている設備がかなりあることが分かり、状況を把握するために、下記のことについて 10 月 12 日締切りで調査を行うことになったので、協力願いたいこと。

① 各部局における共用可能な研究設備・機器を把握し、データベース化し学内に公開したいこと。

- ② リユース可能な研究設備・機器を把握したいこと。

## 2. 運営会議等報告

### (1) 研究企画戦略室

- ① 平成 18 年度科研費について、10 月 21 日が通研の締切りになっているので、忘れずに応募してほしいこと。
- ② 総務省戦略的情報通信研究開発推進制度 (SCOPE) による競争的資金の締切りは、11 月 2 日であること。
- ③ 運営協議会との関連で「マルチフェースウェア・プロジェクト」について、協議事項で説明すること。
- ④ 東北大学情報データベースの情報公開率について  
教員の研究評価を行うための東北大学情報データベースの情報公開について、大学評価に影響するリード (READ) の公開率が 90.9%になり、東北大学の目標 90%を達成したこと。未だ 3 名の教員から連絡をもらっていないので、協力願いたいこと。また、このデータは、部局評価の自己評価報告書の根拠となるので、公開率を上げるだけでなく内容についても充実してもらいたいこと。
- ⑤ 中期目標中期計画に関連し、高校生や一般向けの公開講座のスピーカーになっていたら、報告書作成のためのデータとしたいので、研究協力係に連絡願いたいこと。

### (2) 安全衛生委員会

- ① むき出しの電源盤が未だ数箇所あり、危険な場合があるので用度係に連絡してほしいこと。
- ② 全学的な安全衛生の取組として、試薬の受払システムを導入する予定があり、大学全体でワーキンググループを作り検討する方向であることを受けて、通研としても危険物の管理マニュアルを作成し各研究室に配付すること及び、薬品の保有状況についてデータベース化を行うこととしたこと。
- ③ 地震発生時に備えて棚の転倒防止対策を行っていない箇所があり、産業医から指摘を受けたので、早急に対策を取ってほしいこと。
- ④ 災害時の対応として、通研としては、緊急時連絡網を作成し、休日・夜間の対応を決めており各研究室でも整備されていると思うが、通研特有の問題として、火災発生の際の消火活動に必要な研究室の保有薬品リストの作成を行うこととしたこと。
- ⑤ 現在問題となっているアスベストについて、本部事務機構からの依頼に基づき調査していただいたところであるが、これは、素人が目視によりアスベストの有無を判断し作成した報告書であり、徹底した調査ではないので、専門業者に調査を依頼するよう施設部に申し入れたこと。  
また、各研究室で保有している実験装置にアスベストが含まれている可能性があり、保有状況を把握するため、調査を依頼するので安全衛生管理室に報告してほしいこと。なお、その後の対処方法については、今後検討すること。
- ⑥ 平成 17 年度作業環境測定を 12 月 1 日から 12 月 16 日まで実施すること。
- ⑦ 東北学院大学からテニスコートを緊急時における学生の避難場所にさせてほしいとの申し入れがあり、本部事務機構の承認を得て、東北学院大学側のフェンスに扉を 2 箇所設置したこと。  
なお、鍵については、東北学院大学の守衛に預けていること。

### (3) 学部教務委員会

10 月 3 日開催の工学部教務委員会並びに 10 月 4 日開催の系内学部教務委員会の通研関連事項について、配付資料により報告があった。特に、工場見学について、就職を念頭に置いた大学院生の参加は趣旨から外れているので、募集は行わないことにした旨の報告があり、3 年次学生ではコミュニケーション能力がなく引率教員は苦勞することが考えられること。また、企業側でも就職を念頭に対応しているので、就職と切り離さなくてもいいのではないかと意見が出され、教務委員会へ報告することとした。

### (4) 電気・情報系進路指導委員会

今年度の就職活動については順調に進んでいるが、大学院入試及び公務員試験の結果が不合格だっ

た者及び留学生の一部の十数名が未定であり、ケアしていること。

(5) 東京フォーラム実行委員会

配付資料に基づき下記のことについて、報告並びに依頼があった。

- ① 10月14日に日本経済新聞及び日経産業新聞の全国版に、広告記事が掲載される予定であること。
- ② 案内状を送付してほしい所がある場合にはまだ間に合うので、送付先を研究協力係にお知らせ願いたいこと。
- ③ Web ページについては、現在準備中で近日中に開設する予定であり、開設後にアドレスを通知するので関係者にお知らせ願いたいこと。
- ④ パネル・デモ展示の準備について、協力願いたいこと。

3. その他

(1) 部局評価（教育）について

副所長（研究企画担当）から、教育の部局自己評価について1週間前にメール審議し、その意見を踏まえ配付資料のとおり修正し提出した旨の報告があった。特に注意した点は、工学研究科及び情報科学研究科の報告と矛盾が生じないようにしたこと。また、情報科学研究科の作成途中の報告書を拝見したところ、協力講座のことについては触れていないので、通研として報告書を提出してよかったとの印象を感じたこと。

なお、10月末締切り予定の研究活動に関する部局自己評価についての報告書作成にあたり、資料とするデータの提出について依頼する可能性があるので、協力願いたい旨の発言があった。

- (2) 議長から配付資料に基づき、職員の受賞について紹介があった。
- (3) 議長から配付資料に基づき、民間等との共同研究の受け入れについて報告があった。
- (4) 議長から配付資料に基づき、受託研究員の受け入れについて報告があった。
- (5) 議長から配付資料に基づき、研究所等研究生の在学期間延長について報告があった。
- (6) 議長から配付資料に基づき、研究所等研究生の退学について報告があった。
- (7) 経理課長から配付資料に基づき、奨学寄附金及び受託研究の第二四半期の受け入れについて報告があった。

II. 協議事項

1. 助手の任用について

議長から、誘電ナノデバイス研究分野助手候補者について、配付資料に基づき説明及び提案があり、承認した。

2. 特別教育研究教員の任用について

議長から、特別教育研究経費によりナノ・スピン実験施設共通部に特別教育研究教員を任用したい旨の発言の後、候補者について、配付資料に基づき説明及び提案があり承認した。

3. 移転対応プロジェクト委員会の立ち上げについて

議長から、青葉山移転に関して、通研としての意見を積極的に本部事務機構に提案していきたいこと及び、そのために検討する委員会を設置したい旨の提案があり、承認した。

このことに関連し、移転対応プロジェクト委員会委員の提案があり、承認した。

また、この委員会には具体的な設計等の提案を行うことも視野に入れているので、今後、外部専門家にも加わっていただくことを検討している旨の付言があった。

4. その他

(1) フランス国国立科学研究所固体材料ナノサイエンス研究センターとの学術交流協定について

議長及びナノヘテロプロセス研究部教授から、先月の教授会において、フランス・地中海大学と学

術交流協定を締結したいとの提案をしたが、正式にはフランス国国立科学研究所固体材料ナノサイエンス研究センターであり訂正したいこと及び、配付資料のとおり部局間学术交流協定を 10 月 24 日に締結したい旨の提案があり、承認した。

(2) マルチフェースウェア・プロジェクトについて

議長から、運営協議会において今後のプロジェクトの展開として「マルチフェースウェア」の構想について説明を行いたい旨の発言の後、副所長（研究企画担当）から配付資料に基づいて内容の説明があり、種々検討した結果、これはあくまでも通研の中期目標・中期計画に掲げた通研が目指す計画の一つであり、唯一のプロジェクトではないので、「研究プロジェクトの提案」という表題は避けて説明することとした。

### Ⅲ. その他

#### 1. 第 21 回運営協議会について

(1) 議長から、10 月 25 日（火）13：30 からナノ・スピンの総合棟 5 階大会議室で開催予定の第 21 回運営協議会に係る議事進行要領について、配付資料により説明及び教授各位に対する出席依頼があった。

このことに関連し、部門長、ナノ・スピン実験施設長及び IT-21 センター長には、部門等の研究活動の現況について、5 分ずつ説明願いたいこと及び、説明資料がある場合には A4 判横型 2 枚にまとめ庶務係に提出してほしいこと。また、当日欠席の場合は、説明者の代理を立ててほしい旨併せて依頼があった。

なお、今回の研究所内視察先については、立ち上げつつあるブレインウェア実験施設の現状について見学いただくため、実世界コンピューティング研究部、ブレインアーキテクチャ研究部及び知的ナノ集積システム研究部とする旨の報告があった。

#### 2. 利益相反マネジメント説明会の実施について

議長から、11 月 8 日（火）の教授会開催前の 14：30 から、利益相反マネジメント説明会を行うので、出席してほしい旨の依頼があった。

なお、当日出席できない場合は、「産学官連携推進に関する説明会」においても説明するので参加してほしいことの付言があった。